【台湾駐日代表来館】

台北駐日經濟文化代表處 謝長廷代表

６月８日午後、後藤新平記念館を初訪問。13時30分から16時まで、たっぷり時間をかけて見学されました。当館学芸調査員に浜野弥四郎関係の資料を求めるなど、新平関連事績になみなみならぬ思いが感じられました。

台北駐日經濟文化代表處は、日本における台湾の外交窓口機関で、実質的には大使館や領事館のような役割を果たしています。謝代表は、駐日大使に相当する立場にあり、2016（平成28）年に就任。台北市出身で国立台湾大学法律学科卒業後、京都大学大学院法学研究科に留学。立法委員（国会議員に相当）、高雄市長、民主進歩党首席、行政院長（首相に相当）などを歴任。前日の7日には、達増拓也岩手県知事を表敬訪問しています。謝代表は、台湾近代化に貢献した後藤新平の足跡に触れ、「岩手と台湾の歴史を発信し、コロナ禍後の交流再開に向けた準備をしたい」と話したとのこと。

【謝長廷代表】

８日は、午後からの時間を当館訪問のみに費やしました。奥州市議会真っ最中でしたが、時間の調整を行って、倉成市長や小野寺副市長、菅原市議会議長らが駆け付け、来奥を歓迎しました。謝代表は「後藤新平は、優秀な人材を連れてきて、当時の台湾のインフラを見事に完成させた人物。彼の記念館に来ることができて嬉しい。」と語ってくれました。

その後、奥州市地域おこし協力隊として赴任していた陳平芸氏の協力で作成した台湾華語によるビデオの視聴や館内の常設展示の見学を行いました。

【第15回 NPO 東京シティガイドクラブ総会・講演会】6月11日（土）14:30～

総会時の講演のお招きを受け、墨田区役所に隣接するすみだリバーサイドホールにおじゃましました。小室裕一理事長や井上千晶副理事長、小林江連理事さん方のあたたかいおもてなしを受け、とても気持ちの良い旅をしてきました。後藤新平が力を入れた復興のシンボルでもある隅田川にかかる橋の数々を巡る遊覧船が往来していました。ホール前には、江戸城無血開城の立役者勝海舟の銅像が迎えてくれました。そして、ホールの向こうには東京スカイツリーが。ジョギングする人あり、デートする人あり、散歩する人あり。私もしばし階段に腰掛けながら、至福の時を味わいました。

【第17回後藤新平生誕祭】6月4日（土）10:00～：後藤新平旧宅（水沢吉小路）

新型コロナの影響で、今年も規模を縮小し、顕彰会役員のみで実施しました。清泉古流岩手支部の協力により、参加者全員での挿花で開幕。その後、山口会長が挨拶をし、3日の施政方針演述で、倉成市長が後藤新平の「妄想するよりは活動せよ」という言葉を引用し、「変革を恐れず前に進む勇気を持つ必要がある。」と話したことを紹介しました。

また、当館の中村淑子学芸調査員が、「新平は新平主義なり」として、「処世訓」や越後の河井継之助に関するエピソード等を紹介しました。